



「さよなら2020年 どうなる2021年」

2020年もあと1週間余りとなりました。今年の漢字はやっぱり「密」でしたね。コロナに始まり結局コロナのままの1年でしたね。この1年を振り返ると、1月「武漢でコロナ発症」2月「ダイヤモンドプリンセス号で感染確認」3月「まさかの一斉休校」4月「10万円給付金決定」5月「ブルーインパルス医療従事者へ感謝飛行」6月「アベノマスク配布完了」7月「半沢続編放送開始」8月「安倍総理辞任表明」9月「鳳凰祭実施」10月「鬼滅映画公開」11月「バイデン当選」12月「(あと少して)嵐活動休止」と、いろいろあった2020年でした。

6月に学校が再開され?いや、皆さんはようやくの高校デビューでしたが、西高生になって9カ月です。イメージしていた素敵な高校生活を送っていますか?勉強や部活動など目の前にあることをこなすことで精一杯だったかもしれませんね。日々の積み重ねも大切ですが、これまでの振り返りも自分を見つめ直す大切な過程だと思えます。「何のために西高へ来たのか?」もう一度自分自身に問いかけてみてください。その答えを再確認して、その実現のための足掛かりになるような冬休みにして欲しいと思えます。

西高1年は「なりたい自分になるためのスタート地点」だと思えます。そろそろウォーミングアップも終わりです。自分自身の設定したゴールに向けスタートの2021年にしましょう。「一年の計は元旦にあり」といいます。先生も教員採用試験にチャレンジする年の元旦にほろ酔いでしたが実家の机に向かいテキストを開いてみました。みんなも元旦に初詣と思って机に向かってみてください。では、良い新年をお迎えください。

Merry  Christmas & Happy  New ²⁰²¹ Year



保護者の皆様へ

4月の入学以降、保護者皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございました。冬休みは何かと家族行事も多いですが、なるべく規則正しい生活リズムを保ち、メリハリのある環境作りにご理解とご協力をお願いいたします。また、来月1月18日(月)から2回目の三者懇談が行われます。これまでのお子さんの学校生活の様子や今後の進路等についての情報を交換し、新2年次生に向けて今後の指導についての共通理解を図りたいと思えます。日程につきましては、各担任から連絡いたします。

今年一年さまざまな面において大変お世話になりました。来年も宜しくお願いいたします。

年次主任 三井恒弘

◎ 1月行事予定 ～7日スタートです。15日にベネッセ模試、後半には三者懇談があります。～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	金		元日	16	土		大学入学共通テスト 土曜講座(1)
2	土			17	日		大学入学共通テスト
3	日			18	月	B	三者懇談 短縮50分授業
4	月			19	火	B	三者懇談 短縮50分授業
5	火			20	水	B	三者懇談 短縮50分授業 朝礼
6	水		冬季休業終了	21	木	B	三者懇談 短縮50分授業
7	木	A	きずなの日 朝礼 年次集会(服装頭髪検査)	22	金	B	三者懇談 短縮50分授業 第3回生活実態調査
8	金	A	運営委員会	23	土		
9	土			24	日		
10	日			25	月	A	三者懇談 短縮50分授業
11	月		成人の日	26	火	A	職員会議 週礼
12	火	A	キャリアガイダンス(IB編)	27	水	A	前期募集検査会場準備 大掃除
13	水	A	年次会議	28	木		前期募集選抜検査
14	木	A	職員会議	29	金		前期募集選抜検査
15	金	行	学びの基礎診断(ベネッセ模試) 冬季バイク通学許可式	30	土		
				31	日		

◎先生方からの寄稿 3組担任 志村 奨 先生です。

「除夜の鐘に思う。」

本田宗一郎という人物を知っていますか？ホンダ(本田技研工業)の創業者、実業家です。ホンダといえば、自動車メーカーであり、オートバイメーカーであり、船のエンジンも作り、小型のジェット機も作っています。個人が移動するための乗り物をなんでも作るメーカーです。さらに家庭用除雪機までも作っており、雪が降ったときに人が移動するための「道」をも作ります。



技術者としても大変な功績を残した本田氏ですが、なぜこれほど「乗り物」に情熱を注いだのでしょうか。彼の技術者としての仕事は大変厳格で、そして常に、5年先10年先どころか、もっと先の将来を見据えて、仕事をしていたといいます。戦後の時代にすでに「世の中がどんなに便利になって、たとえば画面に相手の顔が写り、電話で話ができるようになって、『人が人に直接会いに行く』ことの大切さは変わらない。」と考えていたようです。このような考えが、彼の行動の原点なのでしょう。**自分達の作ったモノで、誰かを幸せにしたい。笑顔にしたい。人が人に直接会いに行くという大切なことを支えたい。**このコロナ禍の年末年始では、気軽に会いに行くことはできなくても、そう遠くない将来、禍を乗り越えた後にはそういった大切なことが当たり前になることの幸せを共有したいですね。

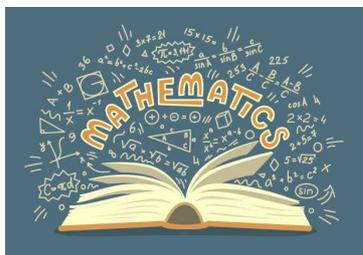
年中行事の一つ、大晦日に行われる除夜の鐘。人間には様々な欲求や不平不満(=煩惱)があって、新年を迎えるにあたって「煩惱に振り回されずに、自分でコントロールしてうまく付き合っていこう」という思いが込められているといいます(諸説あり)。皆さんも数えればキリがないくらい、たくさんの煩惱を持っているのではないのでしょうか。除夜の鐘が鳴る頃、今年はこちらなんだったなあ。来年はこうなるといいなあ。「こうしたい」ではなくて「こうなるといいなあ」と他力本願*系で漠然と新年を迎えてしまうという、除夜の鐘あるあるですね。ここでもう一つ、本田氏の言葉を紹介したいと思います。



「進歩とは反省の厳しさに正比例する。」

皆さんは、物事を(特に勉強を)「やってやりっぱなし」にしていることはありませんか。自分のこれまでの行動と真摯に向き合い、分析する。なんであそこで引き算間違っちゃったんだろう。もっと集中してこうしておけばよかったな、と私自身もたくさんの反省があります。が、しかし反省なしでは、「またかよ。何回目だよ。」となってしまうですね。前途に無限の可能性を秘める皆さんは、変化のスピードがものすごく速い世の中で自分自身と大切な誰かを幸せにしていかななくてははいけません。同じ失敗を繰り返していても大丈夫なほど、時間の流れに大らかさはないと思います。約2年後には「共通テスト」という場で最大限の力を発揮しなくてはなりません。今やるべきことを今しっかりやる。後ろを振り返りながら確実に、一步一步前に進む。自分自身と向き合うことは苦しくてとても大変だけれども、より良くしっかりと前に進むために、振り返りを大切にしていきましょう。

*：他力本願とは本来仏教の用語で、いわゆる「他人の力に頼る」とは別の意味である。



↑志村家の家族用車両(ホンダ)ステップワゴン
※普段は赤いミニクーパーですが(笑)